

農技セ第2501号  
平成20年4月30日

各関係機関長 殿  
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

平成20年度農作物病害虫発生予察情報について

平成20年度農作物病害虫発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

---

平成20年度農作物病害虫発生予察特殊報第1号

平成20年4月30日  
徳 島 県

1 病害虫名：べと病レース6あるいは7 *Peronospora effusa* (Greville) Cesati (race 6 or 7)

2 発生作物：ハウレンソウ

3 発生地域：徳島市，石井町

4 発生の経過

ハウレンソウべと病は、本県において古くから発生しており、平成6～7年にかけてレース4，平成13年(特殊報の発表は平成14年4月)にレース5の発生を、それぞれ確認している。

その後本病は、「新鮮緑」や「アスパイヤー」等のレース5抵抗性品種導入によりほぼ沈静化していたが、平成18年11月、県内におけるハウレンソウ主産地である徳島市国府町及び石井町のレース5抵抗性品種において、広範囲に発生するようになった。

以降、本病レース7までの抵抗性がある品種の普及がすすみ、本病の発生は極めて少なくなったが、平成19年11月に石井町，平成20年3月に徳島市国府町で発生を認めたため、レース検定を行った結果、レース6あるいは7が発生していることが判明した。なお、レース6以下の抵抗性品種による検定が行えなかったため、レースの特定はできなかった。

平成19年12月に石井町で発生した  
ハウレンソウべと病のレース検定結果

品種名	べと病抵抗性	発病の有無
おかめ	なし	+
リード	R1, 3	+
サンピア	R1~4	+
新鮮緑	R1~5	+
ヴィジョン	R1~7	-
タキシード7	R1~7	-
スーパーアリーナ7	R1~7	-
新鮮緑7	R1~7	-

発病株から調整した孢子懸濁液を、直径10.5cmのポリポットへ播種したハウレンソウ(品種:おかめ)に平成19年12月5日、噴霧接種した。発病を確認後、直径10.5cmのポリポットであらかじめ栽培していた各品種を、平成20年1月11日、発病株の間に配置し、1月28日に発病の有無を肉眼で調査した。

平成20年3月に徳島市国府町で発生した  
ハウレンソウべと病のレース検定結果

品種名	べと病抵抗性	発病の有無
おかめ	なし	+
リード	R1, 3	+
サンピア	R1~4	+
新鮮緑	R1~5	+
アスパイヤー	R1~5	+
ヴィジョン	R1~7	-
タキシード7	R1~7	-
スーパーアリーナ7	R1~7	-
新鮮緑7	R1~7	-

発病株から調整した孢子懸濁液を、直径10.5cmのポリポットへ播種した各品種に平成20年3月25日、噴霧接種した。4月11日に発病の有無を肉眼で調査した。

## 5 対策

- (1) 品種は、本病レース1~7に抵抗性があるものを利用する。
- (2) 葉が繁茂すると被害が多くなるので、肥培管理に注意する。
- (3) 春先の病勢の伸展を抑制するため、薬剤は予防的に用いる。
- (4) 薬剤は下葉や葉裏にもよくかかるよう、ていねいに散布する。
- (5) 罹病株を圃場に放置すると、次作の第一次伝染源となるので、発病株は速やかに処分する。また、春先に萎縮して奇形となった株も本病に感染しているので、速やかに処分する。
- (6) 防除等の詳細については、県植物防疫指針を参照する。